

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	現代文B		
使用教科書(発行所)	精選 現代文(東京書籍)				
履修条件 対象生徒	必修 普通科(文系) 2年				
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を身に付ける。				
学習方法	<p>【授業】 論理的な文章については、指示語・接続詞・具体例・段落構成に留意しながら論理の展開や要旨を的確に把握し、筆者の主張を理解する。文学的な文章については、表現を味わい、その表現から想像できる心情、情景などをとらえる。</p> <p>【家庭】 授業で扱う文章は内容を読み取り、分からない語句や教科書に書かれている重要語句は辞書で調べ、授業に臨む。単元が終わったら、問題演習を行う。また、定期考査の範囲でもある漢字の学習は、計画的に進めておく。</p>				
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 中間考査まで 評論『世界をつくり替えるために』 評論『ミロのヴィーナス』 (2) 期末考査まで 小説『山月記』 詩歌『竹』・『永訣の朝』	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方・考え方を理解するとともに、自己のあり方や生き方についての考えを深める。 ・論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ・論理構造を把握しながら筆者の主要な見解を読み取る。 			
	2 2学期 (1) 中間考査まで 評論『相手依存の自己規定』 『科学的発展とは』 (2) 期末考査まで 小説『こころ』 評論『消費されるスポーツ』	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学をテーマにした評論を読んで、人文・社会科学も含めた学問のあり方について、幅広い視野から考える。 ・文章の展開と構造を正確に捉えさせ、筆者の主張を読み取る。 ・登場人物の生き方を主体的に捉えながら作品のテーマについて深く考え、自己の生き方や人間観、他者の存在に対する自覚的な態度を養う。 			
	3 3学期 評論『「である」ことと「する」こと』 小説『藤野先生』	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的・概念的な用語や表現を理解し、具体的な現実との対応を考えながら読み進める能力を身に付ける。 			
評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め発展させている。	必要な情報を活用し、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについて理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	①定期考査 ②授業態度 ③課題・提出物を総合的に判断して評価する。				
その他					